

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		四天王寺和らぎ苑		公表日		令和8年 4月29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		個別性の高いご利用者の方に対して、御家族や施設に対して事前の聞き取りや訪問時に実際の場面で評価を行い、必要に応じて揃え適宜対応している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用者数の増加に従って、ニーズに応じて対応できるよう今年度の下半期より人員を増員して対応している。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		業務の状況について、各職員と必要に応じて情報共有を行い、年度の半期ごとに、事業の総括、計画の見直しを行い問題点に関してはそのタイミングで責任者を中心に検討している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		業務の状況について、部門責任者によって各職員と必要に応じて情報共有を行い、改善が必要なことに関しては管理者へ相談を行っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		現場で活かせる専門職としての知識や技術の補填のため、研修や学会参加など出張で参加できるよう機会が設けられている。		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	子どもの状況に応じて、機能評価を行い支援へと活かしている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。			

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	直接会議に参加できない場合には、担当相談支援員と事前に情報共有を行い関係機関との情報共有を図っている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて、関係各所と直接電話連絡にて情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		移行時には、必要に応じてカンファレンスにて情報共有を行うとともに、御家族を介して移行先の施設と情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	年1回開催されている、地域の児童発達支援センターや施設等が参加している研修会へ、職員の中の代表が参加し交流を行っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	訪問担当者により、訪問後の報告の際に学校や保育園などのご家族の困りごとを聴取し、その場で解決可能な場合はアドバイスや必要な情報提供等を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3	支援実施中に先生に立ち会ってもらい、その場で内容の共有をしている	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談内容については、訪問担当者により、アドバイスや必要な情報提供等を行っている。また、申し入れに対しては、管理者へ即座に報告を上げる体制をとっており、外部への相談の必要性を感じられた場合の相談場所として、行政窓口についての案内を契約時に行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		個人情報保護の観点から、ホームページやSNSでの情報発信は行っておりませんが、自己評価に関しては、今年度よりホームページ上でご報告する予定。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	2	訪問先施設の都合もあり、訪問後に改めてカンファレンスの場を設けることは行っていないが、訪問中や訪問前の電話連絡にて訪問先職員と情報を共有し、ニーズ確認とともに今後の見通しや方向性について確認する時間を設けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		状態異変等のリスクがある子どもさんに関しては、事前にご家族へ状態変化時の対応について確認を行っている。感染症対応が必要な場合は、訪問先の意向を適宜確認し対応している。	訪問時の災害対策等については、現在検討中である。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	身体拘束に関しては、現状そういったケースがないため、今後利用児の状況に応じて検討をする。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 四天王寺和らぎ苑

公表日 令和8年 4月 29日

利用児童数 28名 令和 8 年 4 月 21 日 回収数 28名/28名中

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	22	2		4		当施設では、重症心身障害児と肢体不自由児を対象とした訪問支援を行っており、個別に応じた環境支援機器や器具をそろえております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17	3	1	7		当施設には面談室等の個室のご用意があります。ご希望に応じて使用させて頂いております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	27			1		契約時に事業概要とともに皆様にご説明をさせて頂き、内容のご理解を得たうえで契約しております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	27	1				ご本人の必要性とご家族のニーズ、学校の都合とニーズを踏まえ、その都度、頻度と時間を相談したうえで決定しております。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	26	1		1	OTの先生もいればいいと思う。	職員の体制上、現在は理学療法士のみで訪問を行っており、包括的な視点を持つことを心がけ支援させて頂いております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27			1		ご家族や訪問先支援者、個別リハ担当療法士を中心に聞き取りと情報共有を行い、発達状況に応じた支援を実施するよう心がけております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27			1		ご家族や訪問先支援者、個別リハ担当療法士を中心に、訪問前後だけでなく定期的に情報共有を行い、課題や支援内容を確認し個別支援計画の作成を行っております。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	27			1	学校の先生がどのように話していたのかも知れば良かった。	ご家族や訪問先支援者に訪問前後だけでなく定期的に情報共有を行い、課題や支援内容を確認し個別支援計画の作成を行っております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			2		個別支援計画は、ガイドラインに則り、子どもさんの発達状況に加え、ご家族と訪問先施設のニーズに対する支援計画を作成しています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	28				園の先生からも感謝のお言葉を頂いております。	
保護者 への 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27		1			契約時に事業概要とともに皆様にご説明をさせて頂き、内容のご理解を得たうえで契約しておりますが、改めてご説明させていただきたいと思います。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	16	5		7		訪問担当者により、訪問後の報告の際に学校や保育園などのご家族の困りごとを聴取し、アドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	26		1	1		訪問担当者により、訪問前には最近の様子や体調などを聴取させて頂き、訪問後には訪問内容の報告の際にご家族の困りごとを聴取させて頂いております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3		1	リハビリの時でもよいので、客観的な子どもの評価を半年ごとより少し頻度を上げて欲しいです。	訪問担当者により、訪問前には最近の様子や体調などを聴取させて頂き、訪問後には訪問内容の報告の際にご家族の困りごとを聴取させて頂き、必要に応じてアドバイスをさせて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1			とても！	改めて、お話を伺う際などに共感的な姿勢を持つよう努めさせていただきたいと思っております。

明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			1		相談内容については、相談を受けた時点で訪問担当者により、アドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。また、申し入れに対しては、管理者へ即座に報告を上げる体制をとっているとともに、外部への相談の必要性を感じられた場合の相談場所として、行政窓口についての案内を契約時に行っております。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	27			1		訪問先から相談を受けた時点で、訪問担当者により、電話対応もしくは訪問時にアドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	28					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	28					動画や写真もあって分かりやすく良かったです。学校の先生も直接伝えてくれました。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	6	1	10		ホームページやSNSでの情報発信は行っておりませんが、活動概要等ご利用者各個人に写真や動画をういご説明を行っております。自己評価に関しては、ホームページ上でご報告しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	21	2	1	4		状態異常等のリスクがある子どもさんに関しては、事前にご家族へ状態変化時の対応について確認を行っております。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		2		訪問の際には、子どもさんの状態変化に常に留意し、害が及ばないよう周辺環境への配慮に努めております。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	28					毎回喜んでいました！
	28	事業所の支援に満足していますか。	28					・本人も私も園の先生も、本当に感謝しています。園児たちも先生に会えるのを楽しみにしていたようです。 ・すごく満足しています。引き続きお願いします。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 4月 29日

四天王寺和らぎ苑

利用児童数

28名

令和 8 年 4 月 21 日

回収数 17/17施設中

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	17	0	0	・こちらのニーズに寄り添っていただき、大変助かっています ・これ以上ないほど分かりやすく、助かりました ・こちらに分かりやすいように伝えてくれました	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	17	0	0	・介助の仕方もこちらが分かりやすいように教えて下さり、すぐ実践することができました ・細かに器具を調整していただき、とても満足しています ・こちらが考えていることを相談すると、肯定的に、どうすればできるかを一緒に考えてくれました	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	17	0	0	・その都度、適切な回答を頂きました ・こちらのニーズに寄り添っていただき、大変助かっています ・とても分かりやすく、丁寧に回答していただきありがたかったです	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16	1	0	・こちらの相談に丁寧にのって下さり不安が解消されました ・訪問支援を受けた本人の困り感を軽減することができました ・難しい問題も、相談することで課題が軽減されました	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	16	1	0	・大満足です、ありがとうございます ・特にないです ・とても分かりやすく相談しやすい雰囲気なので本当にありがたかったです	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校での授業主体の対応に細かく相談に乗っていただいて、とても有り難かったです。今後も活用したいと思います ・丁寧に教えて頂きました。学校での様子を保護者に共有して頂いたこともあり、連携が取れました。ありがとうございました ・児童の成長に沿って行うべき支援や取り組む学習について相談できました。専門的なことについて扱っていただけるのも、有効的な支援のために必要だったと感じます。ぜひ来年度も利用させて頂きたいと思います。 ・身体の取り組みや補装具の使用の連携、ありがとうございました ・いつもありがとうございます。とても助けになっています ・いつも丁寧に学校側の困り感を聞いてくださっています。ありがとうございます ・いつも気持ちに寄り添っていただき適確な助言を頂き感謝しています。先生のおかげでこちらも気持ちに余裕ができて関わっていくことができました。・困りごとの相談に対して、いつも丁寧にご対応いただき心強く感じています。また保護者の方のご希望と学校で実際に可能な支援内容について中立的な立場から助言して頂けることを大変ありがたく思っています ・職員からの質問等にもいつも丁寧にご対応いただき、ありがとうございます ・本当にいつもありがとうございます。今後とも宜しくお願いします 					<p>たくさんのご意見ありがとうございます。障害の重症度に関係なく、それぞれの子どもさんの個性や成長、身体状況の変化に応じて、呼吸状態や認知、感覚経験、姿勢や運動発達、環境評価などを元に、環境設定や介助方法の提案、子どもさんについての情報共有を含めて活動への参加の促進や活動場面での子どもさんの持つ機能を発揮されることが促進されるように、今後も支援させて頂きたいと思います。</p>	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	四天王寺和らぎ苑 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日	～	令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日	～	令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 3月 2日	～	令和8年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 17施設	(回答数)	17施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児や肢体不自由児に対する、姿勢や運動発達、呼吸状態や認知、感覚機能、環境評価を得意としており、環境調整や介助方法の提案、子どもの現状の発達状況の情報共有を含めて行い、活動への参加の促進や活動場面で子どもさんの持つ機能が発揮されることを促進することを方針としている。	特に重症児に対しては、病態評価の元、呼吸状態などの全身状態への配慮や介助による骨折の予防に配慮した姿勢設定や介助方法の提案などを行い、医療度の高い重症児に対して安全に活動へ参加できるよう支援している。また、今後の発達や経年変化を見据えた提案等に取り組んでいる。	様々な相談内容に対応できるよう、必要な備品等をそろえる、知識や技術の補填のため研修等に取り組んでいく。基幹病院や地域のデイ、相談支援等関係職種と情報共有を行い、安全に支援を行えるよう支援方針を計画していく。
2	重症心身障害や肢体不自由のある子どもさんの、成長に伴い生じる脊柱変形や脱臼、関節拘縮、呼吸機能低下や運動機能低下など、二次障害によって生じる状態の悪化を予防する視点の元、子どもの変化に応じた姿勢保持具の調整や介助方法の提案等行うことができる。	成長に伴って生じる二次障害により活動参加や社会参加に制限が生じる可能性があるため、現在生じている二次障害への対応だけでなく、今後成長に伴って生じる二次障害に対しても予測的に対応し予防できるよう、訪問先施設や保護者との情報共有や具体的なポジショニング方法の提案等を行っている。	基幹病院や個別リハビリ担当者との情報共有を行い、現状の全身状態や心身機能、整形外科的な情報の把握に努める。
3	理学療法士によって訪問支援を行うため、障害の重症度に関係なく、それぞれの子どもの個別性や発達、身体状況の変化に応じて、包括的に評価する視点をもっており、困りごとに対しても子どもへの直接的な介入方法だけでなく、環境支援の提案等臨機応変に対応することができる。	ご家族や訪問先施設からの情報収集による生活全般の把握とともに、個別リハビリ担当者との情報共有により、現状の全身状態や心身機能の把握に努めている。また、相談事項に実際の場面で対応できるよう、活動の時間に合わせて訪問を行っている。	教育や保育現場の支援者と子どもへの支援と共に、自宅での生活の質の向上にもつなげることができるよう、ご家族からの聞き取りを積極的に行い、相談内容に応じた提案等も行っていく。専門性を高めるため、知識や技術の補填のため研修等に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問に出ることができる人材が限られている。	経験や知識、技術的な要因で訪問先での様々な相談事に対応することが難しい。	訪問ニーズの増加に対応できるよう、人材の育成に取り組んでいる。
2	重症心身障害や肢体不自由児、歩行未獲得の発達遅滞の子どもに特化した事業運営を行っているため、神経発達症などの児への経験が少なく、対応の困難さがある。	神経発達症などの子どもさんへの経験が少ない。	当苑の訪問可能な対象ではないものの、神経発達症に関する知識や情報の収集を行い、発達遅滞のある子どもさんへの訪問の際に対応できるよう取り組む。
3			